FOREST

事業報告書

2025

BUSINESS REPORT



このパンフレットは Forest が運営する障がい者就労支援事業所 branch for pro が製作しました

2025年度総括

2025 年度も、当法人の活動に温かいご支援とご理解を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度は、物価高騰や円安の長期化、人材不足、デジタル化・AI 活用の加速など、社会全体が大きく変化する一年となりました。福祉業界においても、支援ニーズの多様化や制度改正への対応など、柔軟性と継続可能な運営体制がこれまで以上に求められる時代へと進んでいると感じております。

障がい者就労支援事業においては、利用者一人ひとりの特性や体調に配慮しながら、ICT 業務だけでなく、受付対応、軽作業、動画制作、各種デザイン業務、外部団体支援など、多様な業務へ取り組んで参りました。本年度は、他 NPO 法人の紹介動画制作や、小学生向けデジタル教材制作、札幌市関連業務など、地域や社会と関わる案件にも数多く携わる機会をいただきました。利用者の方々にとっても、単なる作業訓練ではなく、「社会との接点」や「実践的な経験」を積み重ねる一年になったと感じております。

また、事業所内では業務フローや情報共有体制の見直しなど、継続可能な運営に向けた体制整備にも取り組みました。支援ニーズが多様化する中で、子どもたちや利用者の成長とともに、私たち支援者側も日々成長と努力を重ね、より一層寄り添える支援体制を構築していかなければならないと改めて感じた一年でもありました。

児童支援事業では、赤い羽根共同募金様のご協力のもと、北海道内 4 施設の児童養護施設へ物品支援を実施いたしました。子どもたちはもちろん、日々支援を行う職員の皆様にも少しでも笑顔になっていただけるよう、必要とされる物品の支援に取り組みました。

北海道内は広域であることから、直接子どもたちと関わる機会は限られておりますが、今後機会があれば、子どもたちの様子や成長にも触れていければと考えております。

海外支援事業については、円安や国際物流費の高騰、国内外における支援ニーズの変化などの影響もあり、本年度は物品支援の実施を見送る形となりました。しかしながら、長年支援を続けてきたカンボジア孤児院「チェイホーム」との関係性は現在も継続しており、現地との連絡や状況確認を行いながら、今後の支援の形について検討を続けております。支援そのものの必要性がなくなったわけではなく、社会情勢を見ながら、継続可能な支援の形を模索してまいります。

2026 年度は、社会全体においてより多様な働き方が求められる時代へ進んでいくものと感じております。一方で、障がい者支援・就労支援を取り巻く環境はさらに厳しさを増し、少なくない事業所が淘汰されていく時代へ進んでいくことも予想されます。

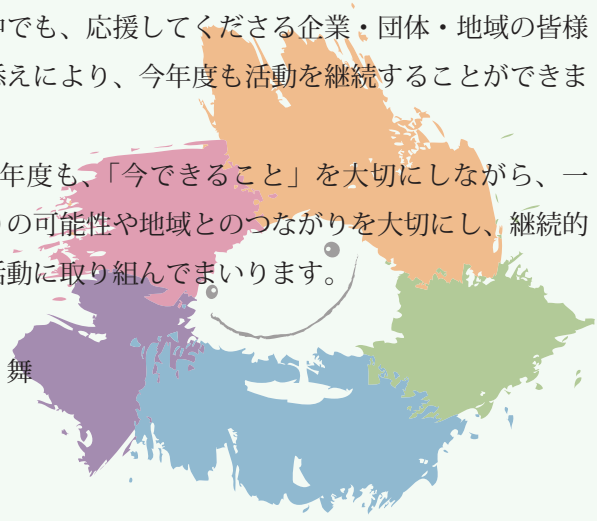
だからこそ、私たちは時代や企業のニーズから目を逸らさず、利用者一人ひとりの「やりたいこと」「できること」「得意なこと」を大切にしながら、新たな分野や多様な業務へ前向きに挑戦していくことが重要だと考えております。
もちろん、無理に苦手なことを押し付けるのではなく、それぞれの特性やペースに寄り添うことも大切です。しかし一方で、社会や仕事は「やりたいこと」だけでは成り立たない現実もあります。

だからこそ、「やってみてもいいかもしれない」という小さな挑戦や経験を積み重ねながら、利用者の皆様、そして私たち法人自身も、これからの時代を共に生き抜いていける存在でありたいと考えております。

今後の課題としては、より柔軟な支援体制の構築、人材育成、業務効率化、ICT 活用、安定した財源確保など、多方面にわたる課題があります。しかしながら、そのような状況の中でも、応援してくださる企業・団体・地域の皆様のお力添えにより、今年度も活動を継続することができました。

2026 年度も、「今できること」を大切にしながら、一人ひとりの可能性や地域とのつながりを大切にし、継続的な支援活動に取り組んでまいります。

小野塚　舞



障がいのある方への職業訓練・就労のサポートを通じた自立支援
障がい者自立支援推進プロジェクト

障がい者自立支援に取り組む理由

「障がい者自立支援推進プロジェクト」は、苦しい状況にある子どもたち同様、社会の制度や偏見・物理的な障壁などによって困難を抱える障がい者の方たちに対しても、Forestができることはないだろうか、という思いから始まった事業です。

私たちは、障がいを持つ方々への理解とサポートは単に「支援する」だけではなく、共に学び、成長していくことだと考えています。

私たちの就労支援事業所のご紹介

Forestが設立した多機能型就労支援事業所「Branch for pro」には、一般就労に近い形で働く「就労継続支援事業所A型」と、柔軟なスケジュールで実務作業の指導や訓練を行う「就労継続支援事業所B型」の部門があります。

A型は事業所に直接雇用され、事業所が請け負った仕事に取り組んでいます。雇用期間の定めはなく、勤務時間により雇用保険等にも加入できるなど、一般の就労に近い形になっています。

B型は雇用契約を結ばない形ではありますが、利用者と相談のうえ通所スケジュールを調整しながら、実務作業の指導やスキルアップのための訓練及びサポートを行っています。

A型：2018年1月開所　/　B型　2021年1月開所

多機能型就労支援事業所
BRANCH FOR PRO

Branch for proの特徴



ICT特化型

WEB分野（サイト制作・プログラミング）、DTP分野（印刷物の作成、画像加工）、各種業務代行などICTに特化した業務が主体です。

障がい者・スタッフそれぞれの得意分野を活かし、小さな単純作業から総合的な制作まで、幅広く対応しています。



高度な専門性と技術の習得

毎年各種資格の受験者/合格者を排出。「基本情報技術者試験」「日商簿記検定2級/3級」等の保有者が在籍。

また、基本的に業務はチーム単位で取り組むため、コミュニケーション力・発想力・提案力などが求められます。

大型オンデマンド印刷機導入により、中小企業/個人事業主様を対象にしたデザイン～印刷製造のトータルサポートも可能です。



スキルアップしながら自立

札幌圏では、このように専門的な業務が行える就労支援事業所は希少です。

障がい者本人の自立を助けつつ、メンバーそれぞれの得意分野を活かしあうことで事業所自体も成長していけるような、他に類のない場を目指しています。

2025年度を振り返って

継続して以来を下さるクライアント様以外に、新規の企業や団体様からのご依頼を継続的にいただき、年間を通じて安定した受注を維持できた1年でした。

特に、動画作成の依頼が増えたことが印象的です。また、教育現場における教科書のデジタル化の推進から、当事業所としても初となる教材のデジタル化業務に着手いたしました。

さらに、自社サイト「グッズの森」を立ち上げ、グッズ販売事業を開始し、既存事業の安定と新規分野への挑戦を両立できた、実りある年度であったと感じております。

次年度以降も、新たな分野の仕事へ積極的にチャレンジし、より多業種のクライアント様を担当できるよう目指してまいります。

就労継続支援B型ではスキルアップへの取り組みと支援を行いながら、在籍者数の増加、通所の安定を目指して取り組んでまいります。

本年度の実績例

[Web系]

各種企業　サイト移設作業
放課後デイサービス WEBサイト制作
情報通信業者　ランディングページ制作
「グッズの森」　サイト立ち上げ、運用

[DTP系]

飲食店　周年案内ポストカード
求人情報仲介業者　A4ちらし
情報通信業者　A4ちらし
NPO法人紹介ムービー制作
専門学校　非常勤講師
地域見守り企業　A4ちらし
RSM　コラム制作、動画制作、各種調査
名刺、ステッカー、クリアファイル等のデザイン業務

[B型　Branch for step]

データ入力
検品作業
封入作業

[札幌市より受託]

ポスター貼り
国勢調査リーフレット印刷
障がい者相談支援事業所ガイドブック2025
障害者記念動画
札幌交響楽団　ユニバーサルコンサートチラシ制作
札幌交響楽団　ユニバーサルコンサートプログラム制作
小学生用デジタル教材制作
「統計調査員だより」印刷業務

[業務代行・その他]

記帳業務・記帳入力業務
ファイリング業務
ECサイト管理　(商品販売用サムネイル作成・商品管理、販売・販売代行・グッズの森メール対応)
証拠データ確認、資料製本
リライト業務
WEBサイトバグチェック
専門学校非常勤講師(10月～2月)
封入作業

[2025年度　合格・就労実績]

Photoshopクリエイター能力認定試験 エキスパート　1名
日商簿記検定試験　3級　1名
基本情報技術者試験　1名
ITパスポート試験　1名
マイクロソフト オフィス スペシャリスト Excel　アソシエイト（MOS）　1名
マイクロソフト オフィス スペシャリスト Excel　エキスパート（MOS）　1名
一般就労　1名



Branch for pro 利用者の声

Branch for pro の利用者の方に、2025 年度を振り返ってのインタビューを行いました！



Web　Mさん
（通所 1〜2年）



業務代行　Tさん
（通所 2年以上）



B型　Kさん
（通所 1年未満）

Q1　今年度 (2025 年 4 月〜 2026 年 3 月) に携わった仕事について教えてください。

名刺やショップカードのデザイン・校正・印刷、ロゴ制作に引き続き、新たに音声データやマップの作成に携わりました。
マップ作成は複数回の修正があり苦戦しましたが、フィードバックを真摯に受け止め試行錯誤したことで、スキルの向上にもつながったと感じています。

新たに AI を用いたリライト業務や EC サイトのメール対応などに携わりました。
作業当初は未経験の業務に対し不慣れな点もありましたが、作業指示者およびチームメンバーからの適切な指導や、丁寧に対応いただける環境に支えられ、継続して取り組むことができました。

Excel を使用し、EC サイトに出品している商品のデータ入力業務および、印刷物の封入業務に従事いたしました。
当初は久々の PC 作業ということもあり不慣れな点もありましたが、継続して取り組む中で入力の速度・制度ともに向上いたしました。

Q2　通所開始〜現在までの変化や感想、事業所の雰囲気・よかったことなどを教えてください。

利用開始当初はデザインソフトの操作に不安がありましたが、適切な業務分担により、現在は基本操作をマスターすることができました。
業務の難易度も成長に合わせて、細かな配慮を頂いたことが着実なブラッシュアップに繋がっています。
また、周囲の方々との良好な関係性や、スタッフ・訪問看護師の方々の手厚いサポートのおかげで、心理的な負担なく通所を継続できております。

通所開始当初より、職員の方々や他の利用者の皆様に温かく接していただき、安心感を持って日々の通所に臨めております。
親切に接していただけていることもあり、ストレスのない環境で過ごせていることに深く感謝しています。
周囲には優秀で研鑽に励む利用者が多く、非常に良い刺激を受けています。私自身も時間を有効に活用し、目標とする資格取得に向けて日々励んでいます。

通所を継続する中で、物事を多角的に捉える視点が養われ、内面的な成長を感じています。
また、所内は穏やかで真面目な人が多く、常に落ち着いた雰囲気の中で対人面でのストレスを感じることなく、業務に専念できる環境だと感じています。円滑な関係性と落ち着いた環境に支えられ、心身ともに安定した状態で通所を継続できています。

Q3　今年取得した資格や、今後の目標について教えてください。

IT パスポートを取得いたしました。
最終的には基本情報技術者試験、応用情報技術者試験の取得を目指しています。
長期的な学習目標を達成するためにも、健康管理を第一に考え、体調に合わせた無理のないペースで着実に学習を継続することを心がけています。

TOEIC 受験を目標としています。
元々英語学習に関心を持っていたのと、英語スキルの向上によって、業務の幅を広げる機会を得たいと考えています。
習得までに相応の時間を要しますが、毎日英語に触れる時間を設けるなど、継続的な学習に励んでいます。

日々の業務では各工程で見直しの徹底を心掛けているほか、より幅広い業務に挑戦できるよう、専門的な IT 知識の習得にも力を入れています。
将来的に一般企業への就職を目指し、その第一歩として MOS の資格取得に注力しています。体調管理に気をつけながら、スキルアップに励んでいます。

その他国内プロジェクト

物品支援

私たちは、児童養護施設で暮らす子どもたちへ、日々の生活や学び、余暇に役立つ物品を届ける支援活動を継続して行っています。2025年度は、赤い羽根共同募金様のご協力のもと、北海道内4施設の児童養護施設へ物品支援を実施いたしました。

支援先については、できる限り多くの子どもたちへ支援が届くよう検討を重ねながら選定を行い、子どもたちはもちろん、日々支援を行う職員・支援者の皆様にも少しでも笑顔になっていただけるような物品を届けられるよう取り組みました。

物品支援は小さな取り組みかもしれません。しかし、「誰かが見守ってくれている」「応援してくれている」と感じられることは、子どもたちの安心感や自己肯定感、未来への希望につながる大切な支援の一つだと私たちは考えています。

また、子どもたちが安心して生活し、学び、遊び、それぞれの未来へ進んでいける環境を支えていくことは、社会全体で取り組むべき大切なことだと感じています。

北海道内は広域であることから、直接子どもたちと関わる機会は限られておりますが、今後機会があれば、子どもたちの様子や成長にも触れていければと考えております。

これからも、「今私たちに出来ることは何か」を考えながら、子どもたち一人ひとりに寄り添う支援活動を継続してまいります。

支援先施設紹介

※敬称略

(公財)釧路まりも学園



寄贈品：ブルーレイディスクレコーダー

釧路市にある児童養護施設です。子どもたち一人ひとりが安心して生活できる環境づくりを大切にしながら、日々の養育・自立支援に取り組まれています。

(社福)池田光寿会 十勝学園



寄贈品：おままごとセット、ゲームソフト・コントローラー

帯広市にある児童養護施設です。地域との関わりを大切にしながら、子どもたちが安心して成長できる環境づくりと自立支援に取り組まれています。

(社福)札幌育児園



寄贈品：ゲームコントローラー、ゲームソフト

札幌市にある歴史ある児童養護施設です。長年にわたり、子どもたち一人ひとりに寄り添いながら、生活支援や自立支援を行われています。

(社福)北光社ふくじゅ園



寄贈品：図書

北見市にある児童養護施設です。家庭的な環境づくりを大切にしながら、子どもたちが安心して生活できる支援を行われています。

ONE PIECE FOR PEACE

ONE PIECE FOR PEACE プロジェクトをスタートしてから丸 12 年が経過し、2025 年度に集まったピースは 21,030 ピースとなりました。プロジェクト開始当初より変わらず応援してくださっている企業さまがいるからこそ、続けられている活動だと実感しております。

2026 年度も引き続き継続して取り組んで参ります。

ONE PIECE FOR PEACEとは

ビジネスにおいて使用されている「名刺」や、「ショップカード」などをチャリティにして頂くことで、1 つあたり 1 円を寄付する事ができる仕組みです。この活動によって集まった寄付金は孤児院や児童養護施設にいる子どもたちのために活用されます。

団体概要

世界には、さまざまな理由により「学ぶことができない」「明るい未来を描けない」「自分で選ぶことが許されない」――そんな環境に置かれている子どもたちがいます。

また、障がいを抱えることによって、制度の壁や社会的偏見、物理的な障壁などに直面し、自分の力を十分に発揮できない方も少なくありません。

私たち Forest は、こうした環境や境遇によって可能性を制限されている子どもたちや障がいのある方々に寄り添い、学び・就労・自立に向けた支援を国内外で行っています。

海外の孤児院への運営支援・物資支援を始め、国や地域を越えて、一人ひとりが「自分の人生を選び、自信を持って歩んでいける」社会の実現を目指しています。

私たちの活動によって、「自分らしく生きる力」や「社会の一員としての自信」が育まれ、それが次の世代へとつながっていく――そんな循環支援の輪が広がる未来を願い、私たちは日々活動を続けています。

【活動方針】

-MISSION- 使命

現在（いま）を生きる不遇な環境で育つ子どもたちすべてが、輝ける道を創り、循環支援の輪を生み出す

-VISION- ビジョン

・どんな子どもたちにも平等に夢を
・どんな子どもたちにも未来への希望を
・どんな子どもたちにも無限の可能性を
・どんな未来の子どもたちにも繋がる循環支援の輪を

-CORE VALUE- 基本理念

・子どもたちの可能性を大切にします
・人との繋がり、縁、想いを大切にし、お互いを尊重します
・自らの言動、行動に対し、偽りなく誠実であり続けます
・最善の方法を常に探求します

【団体所在地】

本部：〒 060-0061
北海道札幌市中央区南 1 条西 7 丁目 12-6
T E L 011-272-7716
F A X 011-272-7715

設立日 2013 年 12 月 3 日
法人設立日 2014 年 4 月 8 日
代表理事　小野塚　舞
E - MAIL　info@forest-japan.org
WEB　https://forest-japan.org/
　　https://branch-for-pro.site/

forest　branch for pro

FOREST
Bless to you ...